

ご家庭で感染を拡げないために！！

感染を拡げないための3つのポイント

1 おう吐物や下痢便はすぐに拭き取り、乾燥させない！

ウイルスは乾燥すると空気中に舞い上がり、空気感染を引き起こすこともあります。
おう吐物や下痢便は速やかに処理することが重要です。



2 消毒はおう吐物をきれいに拭き取ってから！

感染性胃腸炎の原因ウイルスのロタウイルスやノロウイルスは、家庭用塩素系漂白剤での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便が残っていると、消毒液の消毒効果が低下してしまいます。そのためまずはおう吐物や下痢便をしっかり拭き取ってから消毒するようにしましょう。

3 こまめな手洗い！



感染を拡げないためには、調理前・トイレ後・おむつ交換後・おう吐物の処理後等のタイミングに、しっかりと石けんを使って手洗いをして、手からウイルスを落とすことが重要です。

日常生活で気をつけるポイント

1 一緒に使うものから感染拡大！

ウイルスや菌はトイレやお風呂場だけでなく、一緒に使っていたタオルやドアノブから感染が拡がる可能性があります。

個人のタオルを使うなど、一緒に使うものはできるだけ減らす工夫が大切です。



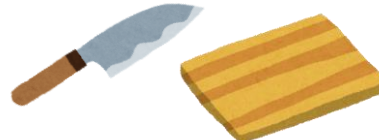
2 トイレは一番危険なところ！

おう吐物や下痢便から感染が拡がるのはもちろん、トイレを流したときの水圧でウイルスが舞い上がることもあります。トイレはふたを閉めて流すようにしましょう。



3 調理器具も消毒しよう！

手に付いたウイルスが、包丁やまな板、食器を介して食材に付いてしまい、感染を拡げてしまうこともあります。しっかりと熱湯（85度以上1分半以上）または0.1%濃度の次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。



4 家族の体調、しっかり確認！

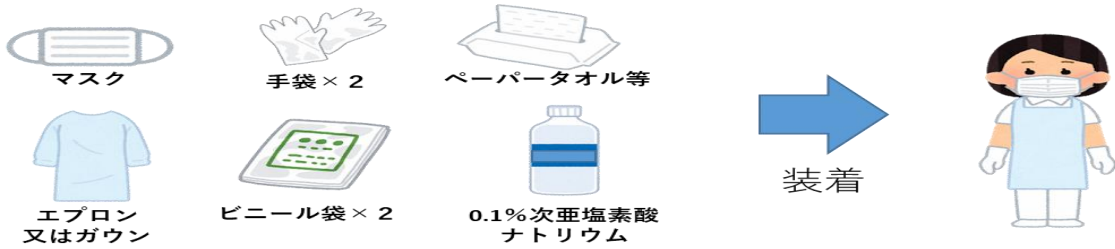
感染を拡げないためには、感染の早期発見が大切です。毎日の家族の体調をしっかりと確認しましょう。以下の症状が見られたら登園・通所を控えるのが望ましいです。

登園・通所を控えるのが望ましい場合

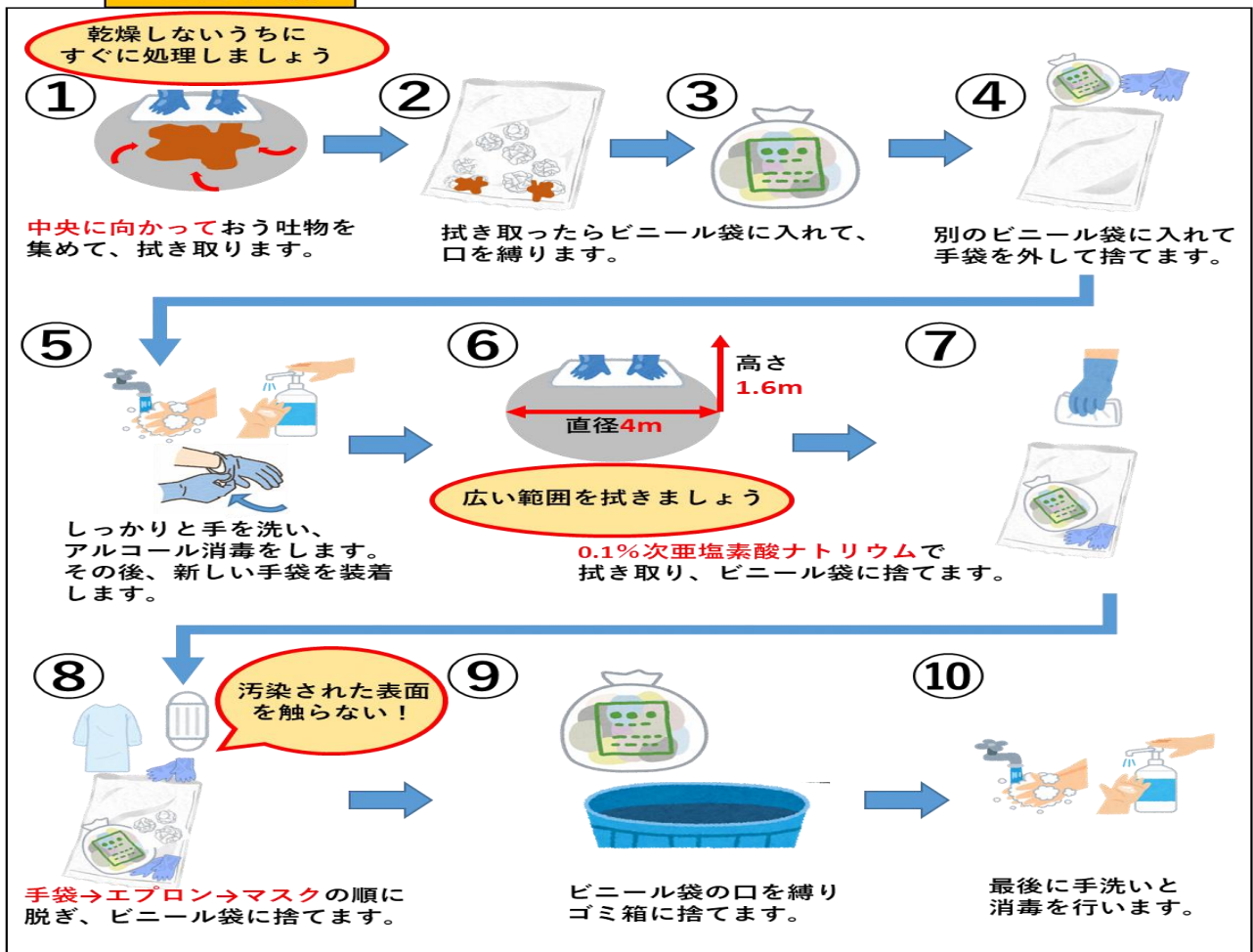
- 24時間以内に複数回のおう吐、水様便がある場合
- おう吐や下痢と同時に体温が高いなどの症状が見られる場合
- 食欲がなく水分も欲しがらない、排尿がない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状が見られる場合

適切なおう吐物処理手順

準備



処理手順



500ml ペットボトルを使った 0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方

